

実践『ペルソナ』通信 (No.111)

「ヘアアクセサリー」に関する調査 Side-*Be*

実践女子大学人間社会学部 実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学生を対象に、女子大学生の「ヘアアクセサリー」についてアンケート調査を実施しました。

※実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学人間社会学部における「統計学科（担当：竹内光悦）」のゼミ生を中心に組織され、実践女子大学生が「自分たち自身」の消費活動、ライフスタイル等を研究する研究会です。

※実践『ペルソナ』通信 Side-*Be*とは、写真観察を行い、実態を考察した調査レポートです。

総括

今回の調査では「普段使用しているヘアアクセサリー」を身につけてもらい、写真観察をおこないました。調査を通して、女子大学生は多様なヘアアクセサリーを利用していることがわかりました。また、服装の色味や素材にアクセサリーを合わせている傾向もみられました。一方で、シンプルなファッションを好む人は、装飾なしのヘアアクセサリーを利用している傾向があることがわかりました。ヘアアクセサリーのカラーバリエーションは、金色や黒色が目立ちました。黒色のヘアアクセサリーを身につける人は髪色に合った暗めの色を選択して身につけている傾向があると推測されます。また、髪型については一つにまとめている人が多い傾向にあることがわかりました。

調査結果のポイント

(1) ヘアアクセサリーを使用する人は多い

ヘアアクセサリーなしの人よりも、何かしらのヘアアクセサリーを使用している人が多いことがわかりました。具体的な種類としては、「装飾なしゴム」「装飾ありゴム」「シュシュ」「ヘアカフス」「カチューシャ」「クリップ」「ピン」の7つとなりました。

(2) ヘアゴムの使用者が多い

ヘアアクセサリーの中でも特に「装飾なしゴム」「装飾ありゴム」の使用者が多い結果となりました。「装飾なしゴム」を使用する人は黒色のヘアゴムを使用する傾向でした。「装飾ありゴム」を使用する人の色の傾向は様々で、金色一色でシンプルなデザインのものからパールのモチーフがついたものなどデザイン性があるものが多くみられました。

(3) ヘアアクセサリーのカラーバリエーション

ヘアアクセサリーの色味として、金色や黒色が多い傾向となりました。黒色のヘアアクセサリーとして装飾なしゴムが特に多く、髪の毛の色にあった暗い色が好まれたと推測できます。また

金色のヘアアクセサリとしては、ピンやヘアカフスなどにみられ差し色として使用する傾向がみられました。

(4) 髪型

髪型に注目して見たところ、ヘアアクセサリを使用している人は、髪を一つにまとめている人が多く、二つ結びや三つ編みなどのヘアスタイルにしている人はいませんでした。このことから、女子大生には髪を一つにまとめる傾向がみられました。

(5) 服装

ヘアアクセサリと服装の関連について、色味や素材を合わせたコーディネートにする傾向がみられました。具体的に、装飾なしゴムではシンプルにまとめる印象がある一方で、カチューシャやクリップでは服装の色に合わせたヘアアクセサリを使用していることがわかりました。

調査概要

- ・調査対象：実践女子大生 1～4 年生
- ・調査方法：Google フォームによるインターネット調査
- ・調査期間：2022 年 11 月 18 日（月）～11 月 25 日（金）
- ・調査場所：実践女子大学

調査担当者

実践『ペルソナ』研究会 中田陽菜・菅又彩花・細田朝未

写真

【装飾なしゴム】



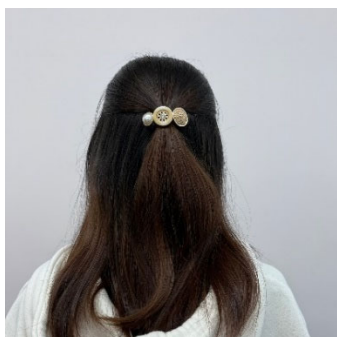
【装飾ありゴム】



【シュシュ】



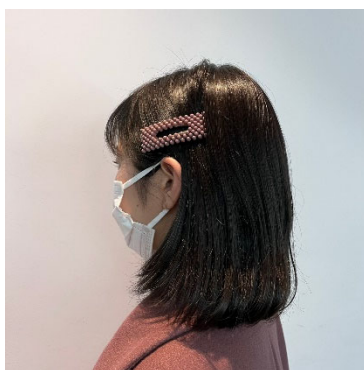
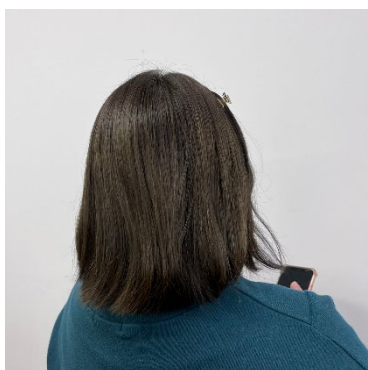
【ヘアカフス】



【カチューシャ】



【クリップ】



【ピン】



【ヘアアクセなし】



調査後記

今回の調査を通じて、女子大生は多様なヘアアクセサリィーを利用していることがわかりました。A面の調査結果とは異なり、B面では「装飾のないゴム」「装飾のあるゴム」「シュシュ」の3種類の利用が多い結果となりましたが、これは調査対象がA面と比較が少ないことが原因だと考えられます。また、B面から服装の色味や素材に合ったヘアアクセサリィーを利用する傾向があること、一つ結びにするために利用する傾向があることがわかりました。

新型コロナウイルスの影響がある中でも、対面授業で多くの方のご協力によって本調査を無事に終えることができました。今回の調査で学んだことや反省点を活かし、今後の調査や分析に役立てていきます。改めて調査にご協力いただいた方々に感謝申し上げます。